



第36回全国 「みどりの愛護」のつどい

「みどりの愛護」活動事例紹介

松戸里やま応援団

「松戸里やま応援団」は、「里やまボランティア入門講座」の受講生が立ち上げた里やま保全活動団体14団体がネットワークを構成し、連携して活動するために組織された団体です。「オープンフォレスト in 松戸」の開催など、松戸の森を守り、育て、生かすための取り組みを行っています。

加入団体ごとの活動

各森で月に2～3回の森の整備・保全活動を行っています。活動内容は主に清掃活動や下草刈り、枝おろし等です。松戸里やま応援団が活動する森は約15haです。また、森の新緑や野草を楽しむ自然観察会や幼・保育園の自然体験の受け入れも行っていきます。



加入団体による連携した活動

里やまボランティア入門講座

松戸市の森は市域のわずか2%に減少しており、「これ以上みどりを減らしたくない」、「次の世代に良好な自然環境を引き継ぎたい」という思いから、森への理解と森の保全に取り組む担い手育成を目的に、2003年から「里やまボランティア入門講座」を市との協働で実施しています。



オープンフォレスト in 松戸

里やまボランティア活動を行っている18カ所の森を一斉に公開するイベントです。2012年から開催し、今年で第13回目を迎えました。松戸に残る貴重なみどりを未来に残し、みどりに親しみ・大切に思う心を育むことを目的に開催しています。



今後の活動

松戸の森を守り育てながら、みどりの魅力や大切さを伝えていくための技術の向上や、森の利活用に努め、多様な活動を進めていきます。